

事前評価チェックシート

計画の名称： 土岐市駅周辺地区における安全、便利で快適な移動空間の確保と移動等円滑化の促進（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画等との整合性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性） 1) 地域の課題への対応となっている。（地域の課題と整備計画の目標の適合性）	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤円滑な事業執行の環境 1) 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 ⑥地元の機運 1) 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年01月05日

計画の名称	土岐市駅周辺地区における安全、便利で快適な移動空間の確保と移動等円滑化の促進（防災・安全）												
計画の期間	令和03年度～令和04年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	土岐市												
計画の目標	鉄道とバスなどの交通結節点である駅前広場を整備することで交通環境の改善及び、段差解消、身体障がい者用駐車施設の設置などによりバリアフリー化を推進し、駅利用者の利便性と安全性の向上を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	27	A	27	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R3末	R4末
1	土岐市駅前広場周辺地区を整備することで交通環境の改善を図り、市民バス利用者を増加させる。 土岐市駅前における市民バス利用者数（人/年）	17959人/年	18000人/年	20000人/年
2	土岐市駅前広場周辺地区のバリアフリー化を推進することで、土岐市交通バリアフリー基本構想における土岐市駅周辺地区の対策済み箇所割合を向上させる。 土岐市駅周辺地区のバリアフリー化の実施割合（%） 対策済み箇所数/バリアフリー基本構想に挙げられている対策箇所数×100	83%	83%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							R03	R04	R05	R06	R07			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	土岐市	直接	土岐市	S街路	改築	(都) 土岐市停車場線ほ か1路線	駅前広場 Δ=0.31ha	土岐市	■	■				27		—
											小計						27		
											合計						27		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03				
配分額 (a)	0				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					